

神戸の詩

ワイン城

西区・押部谷町

PHOTO
MASAO KOBAYASHI



旧居留地散步③〇

PRODUCED BY KOBE DAIMARU



蘭亭茶叙 ランティンティーハウス

神戸市中央区明石町40

旧居留地38番館 4階

TEL(078)333-4086

営業時間／11:00AM～9:00PM／水曜定休





ランティンティーハウス／旧居留地38番館4階

中国は東晋(353年)の頃。文人名士が、あづま屋「蘭亭」に集い、気ままに杯を重ね詩を綴り、流れゆく時を楽しんだということです。そんな心豊かなひとときをイメージしたのが「蘭亭茶叙」です。旧居留地の「蘭亭」では、フランス料理の技術、素材の組み合わせを活かした新しい中華料理の世界スープルシノワーズをご用意しております。食と会話を楽しむ現代のあづま屋としてお楽しみください。



ラビオリ 700円
(水餃子にたっぷりの野菜を添えました／一皿3コ)



ライスクレープ 500円
(米の粉のクレープに、鳥肉・野菜を包みました／一皿2本)



ミニ葉飯 500円
(豚肉と海鮮の2種類があります／一皿2コ)

※表示価格の3%を消費税として別途頂だいたします。

●ランチセット1,500円(11:00AM ~ 2:00PM)・ハイティーセット1,200円(2:00PM ~ 5:00PM)もご利用ください。



足立輝代の
ドレミファトーク

世界初の試み

シルバー・カレッジで 第2の人生にチャレンジ!

今井 鎮雄さん
(神戸市シルバー・カレッジ 学長)



「シルバーの方々がキラキラと輝いておられますね」と足立さん。「豊かな人生経験を勉学に生かして頂きたいです」と今井さん。



第1回入学式の様子

■高齢者の再教育機関「神戸市シルバー・カレッジ」が、神戸市北区の総合福祉ゾーン「しあわせの村」に完成し、10月1日、第1回の入学式を迎えた。

足立 学校内をあちこち見学しましたが、とにかく素晴らしい設備ですね。学生さんもシルバーとお呼びするのは申し訳ないくらい溌剌としていらして…。

今井 高齢者のための教育というと定年後の余生を健康にのんびりと過ごすための趣味と捉えらがちですが、ここでの教育はもっと積極的、実用的なものです。若い時に受ける教育は産業社会に出ていくためのトレーニング、準備としての勉強です

シルバー・カレッジの概要

高齢者の豊富な経験や知識・技能をさらに高め、その成果を社会に還元することをめざして、国際都市・福祉都市にふさわしい学習・ふれあいの場として、整備されています。

- ◇所在地 神戸市北区しあわせの村
- ◇対象 市内在住の57才以上
- ◇定員 1学年420名
- ◇学習期間 3年
- ◇設置コース
 - ◆福祉コミュニティーコース
 - ◆国際協力・交流コース
 - ◆生活環境コース
 - ◆総合芸術コース



 しあわせの村

☎ (078) 743-8000

(財) こうべ市民福祉振興協会

今井 足立 まい、嬉しい！

一流の人を招いて、人間

が第2の人生での勉強は自分のためであり、またこれまでの人達が、生経験があつてこそ得られるものであつてもらいたい。私はこの学校から大学の先生がびっくりするような論文がでてきてほしいと思っています。



今井 鎮雄 さん



足立 輝代 さん

足立 私が指導に当たっているNHK神戸文化センターの唱歌クラスの方でこのシルバー・カレッジに入学された方がいらしてとても嬉しそうに報告にいらっしゃいました。神戸商工会議所のコーラスグループでも殆どの

というものはここまで可能性を持っているのだということを皆さんに見てもらいたいのです。いろんな経験をお持ちの方々を学生として迎えるのですから、全てのことにおいて中途半端なことはできません。

足立 60歳からでものばせるものはたくさんあるはずです。例えば音楽。ここでは一流の演奏家が来てもいいようにピアノだって立派なものをおいています。

ね。

今井 確かに記憶力は減りますがその分、理解力や経験が増しますから総合的な能力はむしろ発展していくと思います。

足立 第1期生が卒業をされる3年後が楽しみですね。

今井 方がシルバーの年代ですがお歌を歌つてらっしゃる時のお顔は本当に無心でその方の本来持つてらっしゃる一番大切な何かを見せて頂けて私も本当に楽しく一緒にさせて頂いています。

今井 行政にこれだけ立派な建物を造つてもらつたのですから、後は私達と学生さん達とでそれに負けないような中身を作つていかないとね。

GUERLAIN



左 塩澤様と後藤店長
上 カウンセリングルーム

Editions de Parfums
GUERLAIN
PARIS

ホテルオークラ神戸店
の
エレガントタイム

■
ゲスト

塩澤 清子様

何もかも忘れてリラックス！

後藤 初めてお会いした時はかなりお疲れのご様子でしたが、今日はお肌に透明感があつて、見違える様にきれいになられましたね。

塩澤 あの時は精神的に落ち込んでいましたので、気分転換に思つてこちらへ参りました。

後藤 女性にとってエステティックというのは気分的にとてもリフレッシュできる場所ですね。

塩澤 お友達と一人でこちらによせて頂いたのですが、気持ち良くゆつくり休めました。

後藤 トリートメント前と後とではお顔の表情が全然ちがいましたね。ゆつくり休息された後のリフレッシュ感をお顔の表情で感じました。

塩澤 吸い込まれそうな眠りに入りました。

後藤 塩澤様のようにお疲れの方はリンパマッサージが良いですよ。お身体は疲れがたまるとき代謝もにぶくなり、老廃物がたまりやすくなります。お顔のくすみもそこからくるのですが、ゆつくり休息をとると同時に身体の代謝を促進させることも大切なことです。

塩澤 家事とか主婦の仕事を全部忘れる位、何時問か別世界で過ごした感じです。何もかも忘れて

無の空間とでもいいましょうか、身体全体が何も考えずリラックスできる、とても良かつたですね。この次はリンパマッサージをやってみたいですね。

後藤 塩澤様にはストレス解消の場、また、身体の健康作りとして利用して頂きたいと思います。

塩澤 子供の手も離れた時期ですし、気持ちにも余裕ができて、自分だけの世界が欲しいと思うになつたのです。ここへ来るる年齢を忘れます。足のつま先から髪の先までリラックスできました。

後藤 お友達に紹介して頂いてほんとうに良かったです。

塩澤 ゆつくり休んで頂くことが健康と美につながると思います。塩澤 楽しみに来させて頂きたいと思います。

Editions de Parfums
GUERLAIN
PARIS

ホテルオークラ神戸店

神戸市中央区波止場町2-1
メリケンパーク内
ホテルオークラ神戸7F
TEL. (078) 391-7811

●月刊神戸つ子を「贅」になつてご来店頂いた方には、オデリス表記念として、ゲラントリートメントチケット2万円分、をプレゼントといたします。また随時内覧会を催しておりますのでお気軽にお問い合わせ下さいませ。

TEL (078) 391-7811

これは神戸を愛する人々の雑誌です。
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。

10月号目次 1993-390

表紙／故小磯良平シリーズ「千登三子素描」

セカンドカバー／西村功「ドンのパンの店」

目次／杉山知子

神戸っ子93年木下直之

ある集い／栗原一兵衛／兵庫県いばな協会

コウベスナップ／アーバンジャズフェスティバル・大津川フェア・播磨船

「播かれた歴史」オーピング・AIR PLAY・ハーバーランド彫刻展

アートKOBIE／栗山茂

神戸の詩／ワイン城／小林政夫

私の意見／兵庫・神戸の歴史を歩こう／伊勢田史郎

ボエム／トヨウ／「藍」鈴木漢／絵・石阪春生

随想二題／喜多洋子・木村次郎吉

れんさいエッセイ／「さよならとバイバイの間」青木

私と神戸／神戸とボク／中西省伍／絵・森本唯人

コーヒーブレイク

地域文化論／国際高等研に茶室贈られる／米花穂

ファッショントレード座談会／神戸ファッショニージアムを創る／

藤本晴美・内田繁・三橋いく代・三好栄三

ファッショントレード／神戸のファッショントレード・メーカーに聞く

ファッショントレード／ジバニン・イシム文化展

アーバンリゾートフェア／神戸93を終えて／妹尾美智子インタビュー

アーバンリゾートフェア／神戸93フィナーレ／「印象神戸」絵画展より

キヤンペーン座談会／「竹中都賞等に向けた」伊東史田郎・安水穂和・君本昌久

ひょううわーく／「景観の形成等に関する条例」総一たかはしもつ

ファッションスポット

神戸っ子誕生会歎

神戸のお嬢さん／山下みどり・加藤優子

シユガーランドを探して／(2)／「思い出のサンセット」白羽恭仁

藤本ハルミの季節の女／「市松モダン」／カメラ・藤原保之

亀井一成のズーム／IN・ZOO

ふたたびプロフェッサーの研究室／岡田淳

大馬鹿時代記／「オーラム93」時代を結ぶ／

福井有

話題のひろば／チュー太郎の会

話題のひろば／第17回井権文化賞表彰式

神戸ジャズ70周年／「用語問題が問いかけるもの」橋本明

モダンカルチャード／「神戸の山里探訪の旅」田辺真人／カメラ・池田年夫

シネマ試写室／男が女になった四〇〇歳の「オランダ」渡川長治

神戸百貨店会員情報

北野マップ

墨いろでつづる恋歌・源氏物語(7)／「紅葉篇」国広節夫・国広富美子

海・船・港／「米田定蔵写真展」カメラ・米田定蔵

カメラ・米田定蔵 池田年夫・松原卓也・森田萬志・森田純三・藤原保之

米田英男

HARUMI FUJIMOTO



“流れる季節に”
藤本ハルミ作品集

日本の伝統美きもの地を素材にモダンな洋服づくりを25年
積み重ね、今そのライフワークを作品集として処女出版！

■作品集によるファッションパーティ

12月14日（火）P.M. 6:30～9:00
於／新神戸オリエンタルホテル真珠の間
チケット ￥20,000（作品集を含む）

作品集内容／Part I 月刊神戸っ子連載の作品とエッセイ “季節の女”

Part II 25年間の代表作品とパーティドレス集

Part III 対談／田辺聖子・新井満・森美代子

出版と主催／月刊神戸っ子 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F

お問合わせ TEL 078 (331) 2246 FAX 078 (331) 2795





The Blazer Shop

MAC

なるほど
ツイードジャケットの風格

MACのお客様（左より）

福原敏晃さん

ジャケット	¥ 49,000
ベスト	¥ 18,000
シャツ	¥ 9,800
パンツ	¥ 21,000

村上 治さん

ジャケット	¥ 46,000
シャツ	¥ 8,900
パンツ	¥ 18,000
帽子	¥ 9,800

MAC
SINCE 1895 KOBE

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22/SANNOMIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651

SANNOMIYA MAC SANNOMIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895

THE BLAZER SHOP MAC TOR-ROAD 078-391-0896

DOLCE MAC

PLENTY MAC

FESTA MAC

BENETTON MAC

SUNVIOLA MAC

SANNOMIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141

SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088

HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738

AKASHI FORUS 4F 078-913-8142

TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830

友がいて
笑顔が輝く
キャンパスライフ



平成6年度 学生募集要項

神戸女子大学

文学部 500名

家政学部 200名

学科名	試験科目
文学科	● 英語Ⅰ・Ⅱ ● 国語Ⅰ・Ⅱ
史学科	● 英語Ⅰ・Ⅱ ● 国語Ⅰ・Ⅱ、日本史の中から1科目選択
教育学科	● 英語Ⅰ・Ⅱ
家政学科	● 国語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ、生物、 化学、物理から1科目選択 ※国語Ⅰ・Ⅱは漢文を除く
管理栄養士	

入試	出願期間	試験日
推薦	10.18~10.27	11.3祝 全学部
一般	1.5~1.14	1.22土 文学・史学 1.23日 教育・家政

●特典その他

教員免許状(幼1・小1・中1・高1)

栄養士免許証・管理栄養士登録証

〒650 神戸市須磨区東須磨青山2の1

(須磨離宮公園の北接)

TEL(078) 731-4416

神戸女子短期大学

服装科 150名

家政科 500名

初等教育科 80名

試験科目
● 英語Ⅰ・Ⅱ
● 国語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ、生物、 物理、化学の中から1科目選択 ※国語Ⅰ・Ⅱは漢文を除く
入試 出願期間 試験日 推薦 10.14~10.28 11.4 木 全学部 一般 1.8~1.20 1.24日 家政科(栄養士・一般) 1.25日 服装・初等教育

●特典その他

教員免許状(幼2・小2・中2)

栄養士免許証

〒650 神戸市中央区港島中町4-7-2

(三宮駅よりポートライナー「市民病院前」下車徒歩5分)

TEL(078) 303-4700

神戸女子大学瀬戸短期大学

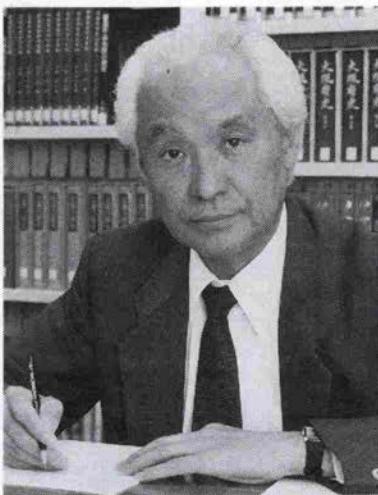
〒709-08 岡山県赤磐郡瀬戸町觀音寺721
TEL(08695) 2-3121

□私の意見

兵庫・神戸の歴史を歩こう

伊勢田 史郎

（詩人・神戸芸術文化会議議長）



東京在住の友人Kが、たまたま大阪に所用があつてやつて来て、電話をかけてきた。そこで一夕、宝石をちりばめたような神戸の夜景を眺めながら杯を重ねることになつた。ところは諏訪山金星台のトゥール・ドゥールというフランス料理店。Kはもともと神戸生まれである。

歯切れのいい東京弁が、だんだん関西風になつてくる。「やつぱり神戸はセンスのええ町やなあ……」

「あかぬけてて、街並には異国情緒がただよつてるわ。じいさんから犬まで、もちろんギヤルも、モダンや……」

「そやけど、ここには京都みたいな歴史がないからな……」
神戸南部の兵庫運河周辺はKや私などのホーム・グランドであつた。時宗開祖・一遍上人終焉の地である真光寺の境内の鬱蒼とした樟の森には、空氣銃でよくスズメやツグミを撃ちに行つた。近くには、兵庫大仏で有名な最澄や清盛ゆかりの能福寺があり、後醍醐天皇の行在所であった福嚴寺、行基開創の藥仙寺や弘安九年（一二八六）の紀年銘がある清盛塚十三重塔など、史蹟に事欠かない。

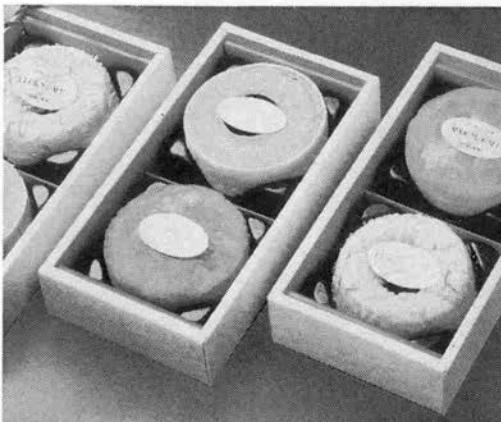
「浜清み浦うるはしみ神代より千船の泊つる大和田の浜」「おい、こんな歌、知つとうか……」

と、私はKに聞いてみた。『万葉集』に集録されている田辺福麻呂の歌である。神戸市の根元の地点ともいいうべき兵庫区の南部地域は昭和二十年三月十七日の大空襲で壊滅、『モダンでセンスのええ町』神戸のなかで、いまもつて、ぼっかり空いた洞穴のように、その繁榮から取り残されている。だが、ここは奈良時代から播磨五泊の一つとして重要な港であつた大輪田の泊を抱えていた地である。清盛が築造し、重源が改修し、宋・明貿易で潤つた兵庫関であり、近世では兵庫津と呼ばれ、寄港する多数の船舶で殷賑をきわめた所である。

翌日、忙しいKを伴つて私は懐かしい『兵庫の津の道』を歩いた。

「自分が生まれ、そして育てられた町を、改めて知つた」と、彼はそう言つて東京に帰つていつたが……

お慶びを伝えるお二人のシルエット
ペアスタイルの贈りもの。



ペアケーキ (A)
<クラウンケーキ・バウムクーベン>
ペアケーキ (B)
<バウムクーベン・アーモンドケーキ>
ペアケーキ (C)
<クラウンケーキ・アーモンドケーキ>

いずれも 1,500 円

北欧の銘菓



株式会社 **ノーハイム・コンフェクト**

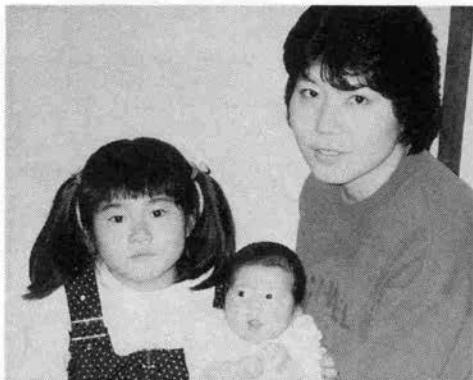
本社 〒651-21 神戸市西区北別府2-1-2
TEL.(078)974-9756 FAX(078)974-9758
大阪営業所 〒558 大阪市住吉区鶴田町7丁目12-19
TEL.(06)697-9435 FAX(06)697-4188

東京・名古屋・大阪・神戸



佐本
産科

ママといつしょに



赤ちゃん: 本多 莉ちゃん (平成5年1月12日生まれ)
ママ: 千賀子さん

「やさしくて可憐な
花のような人になって下さい」

★ 佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
078-575-1024(病室) 078-576-9639)

市バス上沢4停南スク

●駐車場完備●

藍

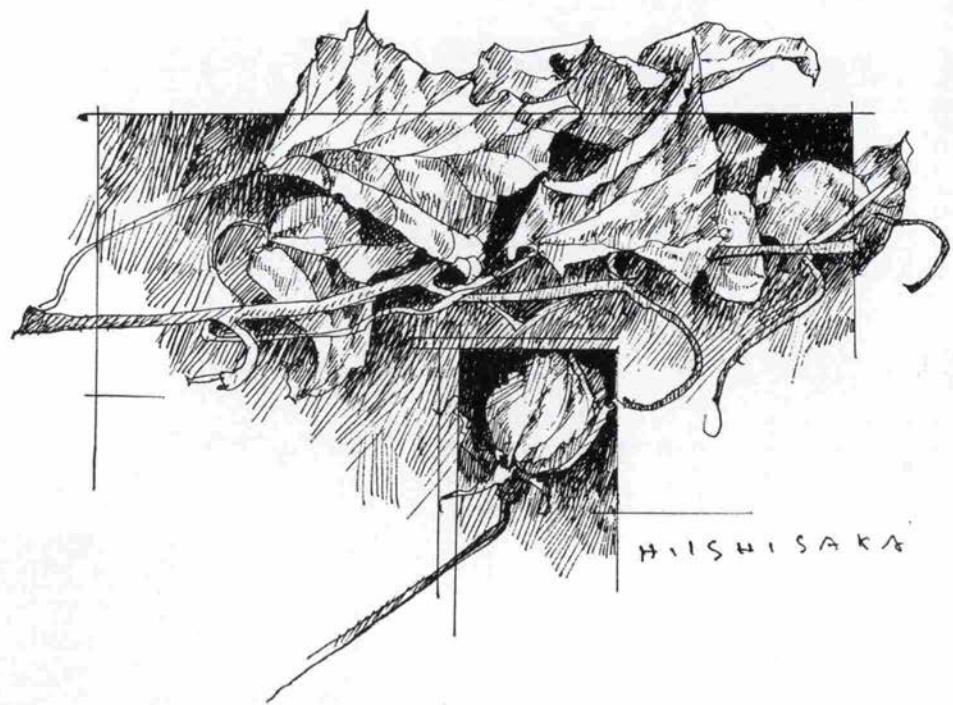
鈴木 漠

絵／石阪 春生

雲間から差す日の光が
街と港のたたずまいを
人々の日々の思いを
縞模様に染め上げる

沖はいちだんと輝いて
その藍色を濃くするだろう
扇のようだ 港は
開かれたり閉じられたり
そのたびに賑わしく
船が出入りする

たぶん街は衣裳なのだ
祭日の晴れ着や
くつろいだ午後のふだん着
移り変わる心に合わせて
人々は
街の風景を着るのだ



二 隨想題

る方々を教えたいのです」とおっしゃっていると聞いて熟女塾から七名参加した。

ミラノから少しはなれた湖のほとりにホテルがあり、そこから歩いて十分、先生の大邸宅はオリーブの木が繁り花が咲き乱れていた。室内の装飾は重厚をきわめた。かけられている画は何世紀も前の

リ一語で
うたえる
歌をこの
際皆唄つ
た。こん
な気分の
良かつた
ことはな
かつた。

コツソツト先生に
レッスンを受けて
喜多洋子

熟女塾事務局



アモーレ（愛） カンターレ（唄）
マンヂャーレ（食） イタリヤを象徴するこの言葉 行ってみたい夢をもちつづけていた。

世界的メゾン・ブラン歌手コツコツ
ソト先生が夏にイタリヤの自宅で
レッスンをするので参加したらと
いうハナノが輝ハニレド。『バノ

ン、オペラ、イタリーの三色国旗が頭の中ではためいた。日頃松本幸三先生に御指導頂き、オペラのアリアなど好きでお勉強をしてはいるけれど、でも、音楽学校を出でていなくては音楽を？高い声が出でないで素人を？高い声が出でないで

日本の素人で、主婦で勉強してい

ミラノやヴェネチアに行った。鳩と遊びゴンドラに乗った。後の舟から松本先生が唄えとおっしゃる。エイ！ ママヨ、旅は恥のかきとオ、ソレミオを唄った。せまい海路と両壁の反響が良かったのかコッソット先生の御指導のせいか、不思議なほど高い声が楽々と出て自分でびっくり、まるでプリマの気分。窓からおばさんが顔を出し行きかう舟や船頭さんも拍手して、もつと唄えと手まねする。サンタルチア、アルデラ、イタ

た日本食をすっかり忘れていた。
アモーレの方はやっぽしダメ。
男縁がないんだ。男前のすてきな男性ばかりで、すぐ声をかけるのも挨拶がわりであたり前。その時はこちらも「チャオ」と言うのだと聞かされていたが、遂にその時はなかつた。

アツという間に時はすぎて、最後の夜は両先生がおいでになりチンチン、サルーテ、盃をあげ頬と頬を合わせ別れを惜しんだ。アルヴェデルチ。

各レストランの大きな日よけ傘の下で。色や柄で行きつけのレストランがわかる。湖をわたる涼風がふかれながらいろいろの種類のスープは山もり。ホークでくるくると卷いてお口にポイ。ピザは直径四十種はあるうか、毎日お腹一杯食べた。おいしくてあきない。持参した日本食をすっかり忘れていた。アモーレの方はやっぱしダメ。男縁がないんだぞ。男前のすてきな男も生まないで、一ヶ月もいける

たと聞かされていたが、遂にその時はなかつた。

アツという間に時はすぎて、最後の夜は両先生がおいでになりチンチン、サルーテ、盃をあげ頬と頬を合わせ別れを惜しんだ。アルヴェデルチ。

生田は

文化、芸術の森

木村次郎吉

〔元支局記者新聞神戸支局〕



ツ班となり、東京オリンピックでは『鬼の大松』回転レシーブで金牌のバレーボール担当として大きな歴史をスクランブルに記録。昭和51年2月、神戸支局勤務で住まいも西宮から神戸に移す。

県政写真の責任を。新聞みな同

去る八月、生田神社会館での私の個展「生田の森の四季」、多数ご来場頂き、有難うございました。

昭和30年春、名古屋中部総局に入社。伊勢湾台風（昭和34年）大水害に自分の家は床上浸水、しかしそんなことを気にしては報道カメラマンではない。『家族の辛さ、自分の苦しみを紙面で訴えるのがジャーナリスト』、入社時先輩諸氏から耳に穴が開くほど聞かされており、その旨、母に説得するのも目が潤む。

昭和36年、大阪写真部に転勤、名刺に写真部員と明記されているが、一年生の仕事は出張帰りのお土産として、多量のフィルム、暗室で太陽を見ない日が再々。スポー



焼夷弾によって大きくえぐられた
『神木クスノキ』

自社の分は後回しで取材中に構図を。昭和56年に写真家・故ハナヤ勘兵衛氏と合同写真展（芦屋で）、風見鶲の館で『国際都市神戸で活躍する女性』を発表。各社同時取材の時はニュース面も各社総長で、

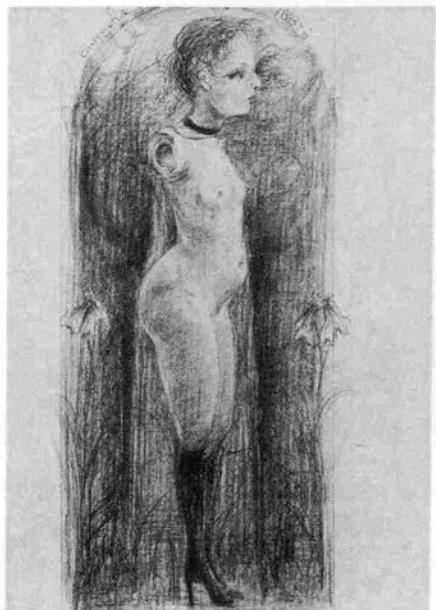
カーマラマンは動く物を撮っての生写真好きで、ジット座つておれな『生田さん』。また生田祭、音楽文化に生田の森ステージは絶好の被写体が特に今年になって、生田に足を伸ばすこと多々。新緑の映えるある日、宮司から「森の中に一度入つたら」と。ヤブ蚊、毛虫の幼虫、くもの巣の中で3時間、よく堪えた。第二次大戦末期の大空襲で、焼夷弾によって大きくなされた『神木クスノキ』が48年たつた今も黒く焦げている現状に、戦争を知らない現代っ子に恐い戦争を二度と起こさせないよう、祈る体験者の一人。

秋の月、荒城の月を松本幸三氏が生田の森の月に歌う観月祭。また、アメリカン・フェイヴアリンクトコンサートが加藤宮司の合図で開催。日程をメモする横で『お爺ちゃん、カーマラマンと一緒に死ぬ!』と孫が笑う。

今後も皆様のお力添えをよろしくお願いします。

自己満足のファイト

さようならと バイバイの間



青木はるみ ▼詩人▼

絵・杉浦祐二

な家と違つて私の好奇心が大いに刺激されるのだ。

電車のドアが閉ると、プラットフォームに残つた六、七人の女高中生がいっせいに手を振つた。電車に乗りこんだ三人の女高中生もバイバイとにぎやかに声をあげる。よく見かける光景なのだが、最近の女の子はみんな両手のひらを外側へぱつと開き胸のところでヒラヒラさせるスタイル。揃うと、けつこう華やか。何て可愛いのだろうと見とれてしまう。

考えてみれば、バイバイという言葉はあまり品がよくないし、幼稚でさえある。さようならといふ美しい言葉を、そういう私自身も使わなくなつてゐることに気付く。さようなら、なんていうのは大げさな劇的シーンに使うものと誰しも思つてゐるようである。女の子たちの場合はジェスチュアの可愛らしさが先行するので、言葉のひびきは気にならない。ともかく電車のなかでは、単調

つい先ごろも、私の所属する同人誌の合評会に出るため、近鉄電車、JR、阪急と乗りついでいる間、ふたつ面白いことに出会つた。合評会の会場は阪急六甲で降りて、六甲登山口の方へゆるやかな坂を上がつていく途中にある。西宮北口までは特急で行き、そこからは普通に乗りかえる。その、いさか長い道程を、どういうものかずっと一緒だった若いカップルがあつた。偶然とはいえ、乗りかえるたび同じ車輌に位置し、しかも、いかにも幸せいっぱいの仕草のひとつひとつが嫌でも私の網膜に焼き付いたというわけ。ともかく若い男性は乗りかえるたび、じつに素早く自分のクラッチバッグを網棚にあげ、それから女性のハンドバッグを受け取つて網棚に並べる。更に女

性の上着を「暑くない？」と訊いてから脱がすのを手伝い、きちんと袖だみをして網棚に収納したのだった。収納というのは変だが、あまりも細やかな動作なので、そんな感じがしたのである。更に女性が丸めて持っていたリーフレットまで「それも」とうながして網棚にあげてしまったのだ。男性は右腕でしっかりと吊り皮をつかみ、女性の腕を自分の左腕につかまらせた。女性はといえば、どんなに電車が停まるたびにぐらぐらしても、決して自分では吊り皮を持たないのである。

乗りかえた車両によっては席が空いていて座ることもあつたが、網棚にあげる手順は同じ。女性の手を膝にひきよせて置き、自分のてのひらで包む。女性は首をかたむけ男性の肩にもたれこんでいる。

このカップルが座っているときには私も向きあつた席に座っていたので、だんだん私のほうが意識過剰になってしまい、困ったあげく目をつむつて眠つたふりをすることにした。眠つたふりをしているだけなので、次々に色々なことが思いうかんでくる。私の新婚時代など夫ときたら、山道でさえ勝手に凄いスピードで歩いて行つてしまつたものだ。私は私で、目の前の若い女性のよう、夫の肩にもたれて甘えるということもなかつたのだと思い、脈絡もなく時間が飛んで、最近開かれた詩集出版記念会のあとの友人たちとの雑談を思つて、話題が恋愛論めいたものに流れていったのだった。

「それにしても」と私はいった。

「好きなんでしょう。ほんとに愛していたんでしょ。

その二人がなぜ別れるようになるのかしらねえ」と我ながら陳腐な問いかけをしてしまつたのだ。とたん、みんなに大笑いされてしまつたのはいうまでもない。「青木さんって、まるで収穫前みたいなことをいうんだな」とあきれられたりして赤面したものである。私は恋愛論が苦手。なにしろ最初のお見合い相手とあっさり結婚したというコンプレックスがある。

コンプレックスまで溯つたとき、ふつと佳い香りがただよつてきた。目をあけると、隣席に座っている老婦人の膝の紙包みから、不思議な形のものが先端を覗かせている。「いい匂いでしょ」とその人が話しかけ、紙包みを開いてくださる。つる性の木の枝に淡緑の果実がたわわに吊りさがつていて、キーウィなのであった。まだ小ぶりなので、一見、キーウィとはわからなかつたのだ。どんな花ですとたずねると「リンゴの花のようですね。雌の木と雄の木を揃えて植えてあげないと……」と続け、ほほほと美しい素敵な笑顔がこぼれた。おそらくシルク地であろうと思われる上品な紺のワンピース姿。同じ質感の紺のパンプスに、それこそリングの花のような飾りが効いている。

その人が芦屋川で立ちあがり降りるとき、思わず私も立ちあがり「ごめんくださいませ」といつてお辞儀をした。こんなエレガントな挨拶をするのは、相手の趣味の良さにつられたとはいえ自分でも気持のいいことである。けれども、こういう場合はやはり「ありがとうございました」というべきだったかもしれない。

神戸とボク

中西 省伍／神戸ファッショングリエーターズ代表▽ 絵／灘本 唯人

神戸っ子はシャイでちょっとびりオッショコショイ。

オシャレな街というイメージを持ちながら、これ見よがしのギンギンファッショングにはめつたにお目にかかりません。

何がなんでも目立ちやいい、わけがわからなくても流行りものを着たらしい、といった近くの都市の女性方とは一味違うんですねア。

昔、ミナトだったという事実が早くから西欧文化を吸収、ファッショングにおいてもセンスと見識を養ってきたからだと思う。従つていくら世の中がファッショング化され、幾多のメディアから情報が流れてきても、そんな戦略に簡単には乗つからないし、又乗せられることにシャイムを感じていいからでしよう。

そんな神戸に生まれ、神戸で育ち、神戸で仕事を続けてきたボクにとって、今年はめっぽう忙しい。世の中不景気ムードの今、"メチャ忙しい"なんて言うのは何かカッコつけてるようで面映ゆいんですが…。(これもシャイイ?)

今年の神戸は"アーバンリゾートフェア'93"なるタイトルで、豊かで生き甲斐のある街、そして一度は来てみたい街へ向かって各種イベントを開してきたことは皆様よく御承知のとおり。市民参加型のフェアにしたい市当局の意向で、すべての企画に市民が参画、プランニングから運営等々汗を流したもの。

そんな数多いイベントのうち、

「街かど写真コンテスト」

「シルバー合唱コンクール」

「神戸ファッショングデザインコンテスト」の審査員をおおせつかつたところに

「神戸映画大賞'93」などビッグイベントの実行委員長を引受けろとの申し入れ!。これにはさしものボクも即答できず、先輩・友人に相談もし、女房・娘にも話した結果、今まで神戸で生きてきた義理と恩返し(古いなあー)に、日本で初めてというショートフィルム・コンペティションに興味を感じ(これがオッショコショイ?)OKしたのですが、これは大変な仕事でした。

全世界の若手映画作家に呼びかけたところ、集

かねてから“神戸にカメラ博物館を！”と、書いたり言つたりしていたら急に具体化、阪急御影駅南側の新築ビル2F（約400坪）を用意していたとき、年内にオープンしろとの御下命でこれまた大変な仕事！。

折角やるからには、何處にもないユニークな“さすが神戸やナ”と言われるようなミュージアムにしようと、日夜関係スタッフと奮斗中の今日此頃。

陳列カメラも戦後日本カメラ勃興期に重点（既存の博物館の盲点でもあり、世界のカメラ界が興味・注目している）を置き、それに付随してギャラリー・ミニスタジオをも併設、誰もが楽しい博物館にするつもり。

本職のファッショニでは、県下の地場産業（豊岡カバン・西脇綿織物・丹波ちりめん・姫路皮革・志方靴下・長田ケミカルシューズ・神戸帽子）の御協力を得、共通のコンセプト・テーマで足並み揃えて商品化、これぞ本来の“トータルファッショニ”と言えるものをテストケースとして発表（本邦初？）しようと、K・F・C（神戸ファッショニクリエーター）のメンバーで進行中なんです。

人間の一生、いろんな巡り合わせがあるのでしようね。ボクにとってここ数年はヘビー・デューティ・イヤーズですが、これも神戸っ子気質がなせるワザとして頑張るつきやない！。



盛況好評裏に終わったこの映画祭は、ボクの人生に大きなモニュメントを築いてくれました。ホツとする間もなく、今度は「市立カメラ博物館」設立にひと役買えというはなし。

天もこの努力に感じてか、審査委員長にお願いした中国のチェン・カイコー監督がタイミング良く映画祭直前にカンヌでグランプリ受賞。笛と華をつけていただき、大いに意氣が上がりましたつけ。



△中西省伍氏のプロフィール△
日本デザイン文化協会理事、トア・ロード山会会長を務めながら、大阪モード学園・大阪女子学園短大・成安女子短大で教鞭をとる。また、関西TV「ノックは無用」の「変身コーナー」でコーディネーターを担当、多方面で活躍中。